

地区中総体男子団体初優勝の快挙  
金中卓球部新チームでも快進撃!



上：  
地区中総体の優勝メン  
バー（3年生も含めた  
集合写真）

右：  
地区夏季大会ならびに  
地区中新人戦でシング  
ルス優勝の川崎部長

左：  
県北ブロック大会に出  
場する（左から）川井将  
吾くん、川崎謙太くん、  
長倉拓夢くん



行け！金中卓球部

8月11日、最上地区夏季卓球大会が新庄市体育館を会場に開催され、カデット（中学生以下）の部において、川崎謙太くん（内町）・長倉拓夢くん（三枝）ペアがダブルスで優勝を果たしました。同大会シングルスでも、川崎選手が優勝、長倉選手が準優勝し、トップ2を独占。今年6月に開催された最上地区中学校総合体育大会で、男子団体初優勝の快挙を成し遂げた金中卓球部が今なお快進撃を続けています。

9月17・18日には、各中学校とも新チームで争う秋の一番である最上地区中学校新人大会が開催されました。ベストメンバーで臨んだ男子団体戦では、難なく予選リーグを1位で通過し、決勝トーナメントへ進出。準決勝で宿敵大蔵中と対戦するも、ミスが先行し流れを掴めないままストレート負けを喫しました。団体戦では3位入賞しましたが、優勝を目指してただけに、力を出しきれなかった悔しさが残ります。しかし、男子個人戦では地区夏季大会に次いで川崎謙太くんが優勝を果たしました。その他ベスト8に2名の選手が残り、計3名の選手が10月15日に開催される県北ブロック大会への切符を手に入れました。

現在部員は、1年生7名、2年生5名の計12名。「まずは県北ブロック大会での入賞を目指す。来年の中総体で最高の力を発揮できるよう、冬期間の練習も頑張っていく。先輩方が作ってくれた勢いをそのままに、金中卓球部の歴史を塗り替えていきたい」と部長の川崎くんは意気込みます。リオデジャネイロ五輪では日本勢の活躍が目立った卓球。ここ金山でも『卓球旋風』は起き始めています。東京五輪を目指して、行け！金中卓球部！